

## 就任のご挨拶

一般財団法人 南都経済研究所  
理事長 しまかわやすお  
嶋川安雄



この度、田村前理事長の後任として、第9代理事長に就任いたしました。

当研究所は南都銀行創立50周年の記念事業の一環として昭和59年3月に設立され、以来、地域産業の振興と経済社会の健全な発展に寄与することを目的に、奈良県を中心とした経済・産業動向の調査分析や企業経営に関する情報提供など様々な事業に取り組んでまいりました。当研究所が昨年創立30周年を迎えることができましたのも、ひとえに皆様方の多大なご指導、ご支援の賜物と心から厚く御礼申し上げます。今後も、歴代理事長が築いてまいりました実績を更に発展させてまいりたい所存です。

さて、日本経済は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」によって、企業業績や雇用環境を中心に緩やかな回復軌道を進んでいます。しかし、景気回復の実感は大都市や大企業などに偏っており、奈良県など地方や中小企業においては、景況感は一進一退の状況が続き景気回復もいまだ道半ばの状況にあると思われま

このように大都市と地方の格差が見られる中、我が国の人口は今後長期的に減少し、少子高齢化が急速に進むことが予測されています。人口

減少や高齢化は特に地方経済に大きな影響を及ぼすため、政府は昨年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、地域の特性に即して課題を解決し多様な地域社会を形成することを旨とした「地方創生」を日本再興戦略の柱として推進しています。

それぞれの地域においては、地方創生に向けて、正確な現状把握と特色ある総合戦略の構築が求められています。地域の現状に危機感を持ち、行政機関だけでなく企業や大学、金融機関等が戦略策定に積極的に参画することがきわめて重要です。

当研究所は地域に根ざしたシンクタンクとして、この地方創生への積極的な関与をはじめ、少しでも地域の皆様のお役に立つ提言や的確な情報の提供に努めるなど、引き続き全職員一丸となって取り組んでまいりたい所存です。

また、そのためには、行政機関や大学等の研究機関をはじめ関係各機関との更なる連携強化とともに、地域の皆様との接点を一層広げてまいりたいと考えております。今後とも皆様方のご指導、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。（平成27年6月29日）